

トーセ (コード 4728)

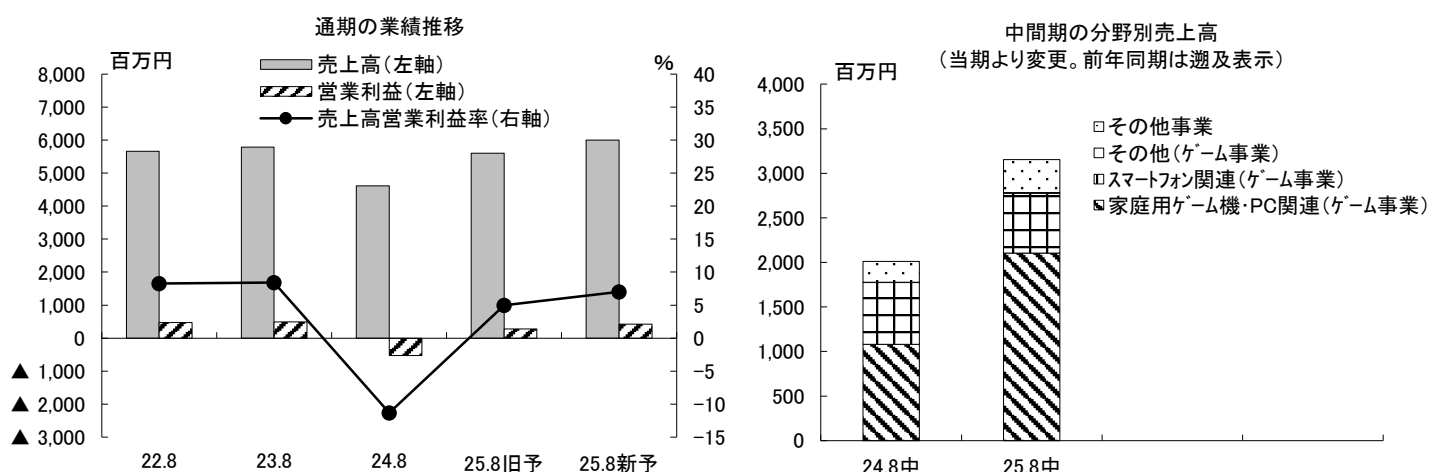
◆各決算期の中間期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	2,638	144	8.8	12.5	244	258	▲94	1,339
23.8	3,037	258	26.6	12.5	89	▲53	▲94	1,582
24.8	2,013	▲459	▲41.7	12.5	▲1,374	188	▲95	1,275
25.8	3,154	319	12.5	12.5	265	▲70	▲94	1,379

◆通期業績推移(連結) (25.8 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.8	5,662	469	40.9	25.0	684	200	▲188	1,643
23.8	5,783	488	65.9	25.0	1,177	▲70	▲189	2,554
24.8	4,615	▲522	▲34.4	25.0	▲1,286	196	▲189	1,278
25.8予	6,000	420	10.6	25.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



25年8月期の中間期業績概況…25年8月期の中間期(24年9月～25年2月)は、前年同期に発生したゲーム事業での開発案件2件におけるトラブルが一巡し、同事業の複数のプロジェクトが活発に進行していることなどから、売上高は前年同期に比べて約57%増加。利益面でも、主要な開発プロジェクトが概ね円滑に進行し同社想定をやや上回る収益性で推移しているものが多く、営業損益は大きく黒字回復となった。

当期の業績は、売上高31億5,400万円(前年同期比56.7%増)、営業利益3億1,900万円(前年同期は4億5,900万円の損失)、経常利益3億2,100万円(同4億5,100万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純利益9,400万円(同3億1,500万円の損失)となった。

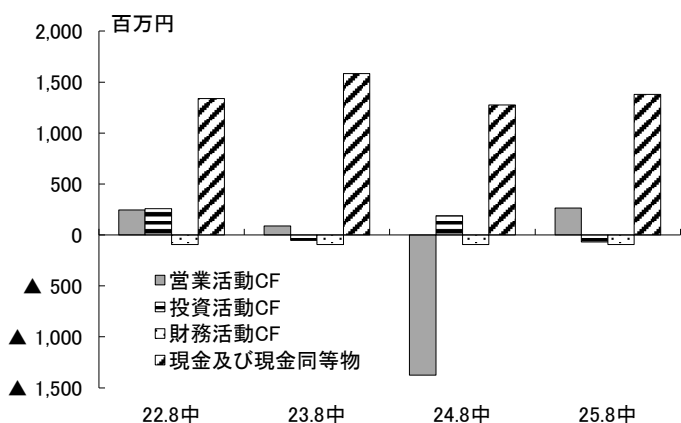
事業セグメント別(当期より変更)では、売上高は、ゲーム事業27億8,300万円(前年同期比56.3%増)、その他事業3億7,000万円(同59.4%増)となり、ゲーム事業の主な内訳は、家庭用ゲーム機・PC関連21億500万円(同94.7%増)、スマートフォン関連6億7,200万円(同3.0%減)など。また、営業利益は、ゲーム事業2億6,400万円(前年同期は4億9,500万円の損失)、その他事業5,400万円(前年同期比50.3%増)となった。

ゲーム事業において、家庭用ゲーム機・PC関連では、23年8月期以前より継続して取り組んでいる複数の開発プロジェクトで高稼働の状態が続いており、追加発注で開発ボリュームが期初

想定より拡大しているプロジェクトも発生。海外大手ゲーム会社との大型開発プロジェクトなど、複数の試作段階の開発プロジェクトも進行し、トラブルの発生で売上が低調だった前年同期に比べ大幅な増収となった。スマートフォン関連では、継続している複数の運營業務は堅調に推移した一方、開発業務において、スマートフォンゲーム市場で競争が激しいことから新規開発依頼については家庭用ゲーム機向けを優先して実施しているため、開発売上が減少し、スマートフォン関連全体としては減収となった。その他事業については、家庭用カラオケ楽曲配信事業が機能追加などのアップデートを実施したことなどもあって引き続き高水準で推移したほか、システムインテグレーション事業において、教育関連分野で前期の後半から進めていたコンテンツ開発のプロジェクトが貢献。同事業全体の売上は大きく増加した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）については、当期末の現金及び現金同等物残高は 13 億 7,900 万円（前年同期末比 8.2%増）となった。営業活動による CF は、税金等調整前中間純利益 1 億 4,300 万円（前年同期は 4 億 2,800 万円の損失）、減価償却費 4,500 万円（前年同期比 6.3%減）、減損損失 1 億 4,700 万円（前年同期は無し）、売上債権の増加額 1 億 6,200 万円（前年同期比 77.9%減）、棚卸資産の減少額 2,500 万円（前年同期は増加額 1 億 1,600 万円）などにより、2 億 6,500 万円の収入（同 13 億 7,400 万円の支出）となった。投資活動による CF は、定期預金の減少額 1 億 400 万円（同増加額 1,000 万円）、投資有価証券の取得による支出 1 億 4,100 万円（同投資有価証券の取得、売却及び償還による差引収入額 2 億 2,300 万円）などにより、7,000 万円の支出（同 1 億 8,800 万円の収入）となった。財務活動による CF は、配当金の支払額 9,400 万円（前年同期比 1.1%減）などにより、9,400 万円の支出（同 1.1%減）となった。

中間期のキャッシュ・フロー(CF)推移



25 年 8 月期の通期業績見通し…25 年 8 月期の通期業績については、売上高 60 億円（前期比 30.0%増。修正前 56 億円）、営業利益 4 億 2,000 万円（前期は 5 億 2,200 万円の損失。修正前 2 億 8,000 万円）、経常利益 4 億 1,500 万円（同 5 億 100 万円の損失。修正前 2 億 6,000 万円）、親会社株主に帰属する当期純利益（以下、当期純利益）8,000 万円（同 2 億 6,000 万円の損失。修正前 1 億 6,000 万円）の見通しで、24 年 10 月 10 日付けの会社側発表値から売上高、営業利益、経常利益で増額修正された一方、長岡京トーセビルの建替えに伴う土地売却関連費用（約 3 億円）を特別損失に計上するため、当期純利益は減額修正されている。

事業セグメント別では、売上高は、ゲーム事業 53 億 7,000 万円（同 28.9%増。修正前 49 億 7,000 万円）、その他事業 6 億 3,000 万円（同 40.2%増。修正無し）で、営業利益は、ゲーム事業 3 億 1,700 万円（前期は 5 億 7,300 万円の損失。修正前 1 億 7,700 万円）、その他事業 1 億 300 万円（前期比 100.4%増。修正無し）となっている。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。